

山田流

訂正
增補

撫箏雅譜集
前篇

特41

776

074532-001-0

特41-776

撫箏雅譜集 (訂正增補)

野口 照和 / 編

前編

M36

CEI-1899



94

252

訂増



雅譜集序

夫



乃歌を以て樂器あり樂人

明治

11

内交

乃



と以て之れを節せられたる

のこころを然りとすまはるる及ぶまじし世の觀ぶ所の三味

線其音色なりとを能くを和するたふりては

其音曲遙かに事なるをいふるは

聞かざらんや

其調曲淫靡を以て能くはたすは目に見
ぬ鬼神もあはれむはては事古よりあり
るは其の事、曩に世は於て琴の曲抄の序
よりかくはまはるは今も陳ていひて一
禮尊しあるは音曲なるはなる一
安村檢校系皇都永昌の邊に住ありて
さいふおへおとすの國の境に於て

心成りたる輩、其名を以て流傳の波路とせむ
此門の遊人、事と稱ふは琴曲抄の表裏新曲
亦の薄塵の備は待てしと雖も、尚今やの檢校
の心は堪ふは、世の事、年毎に組る勝
か、と極むは、一筋を以て、可くは、おれ
しと門入は、いひて、梓よ、ちと、あ、あ、あ、
せん、事、と、せ、ら、に、い、は、し、ま、い、か、へ、書、林、系、と

うぶさるしつゝのあれ撫箏雅譜集と
題し余の序せんとすはてしなく
いふれくは撫箏とていふはし

寶曆己卯の巻

新選古今五ノ

増訂 撫箏雅譜集 前編

○ 初歩 目録

姫 ますの

片 くらげ

花 くらげ

四季の花

ほ くらげ

手習

歌の道

落梅

新年の雪

更衣

あみり

冬、竹

○ 表 探 目 録

菜 露

あまのりくも

梅の枝

あまのりくも

心 盡

あまのりくも

天下太平

あまのりくも

薄 雪

あまのりくも

雪 晨

あまのりくも

六段之調子

。裏操目錄

雲上

藤衣

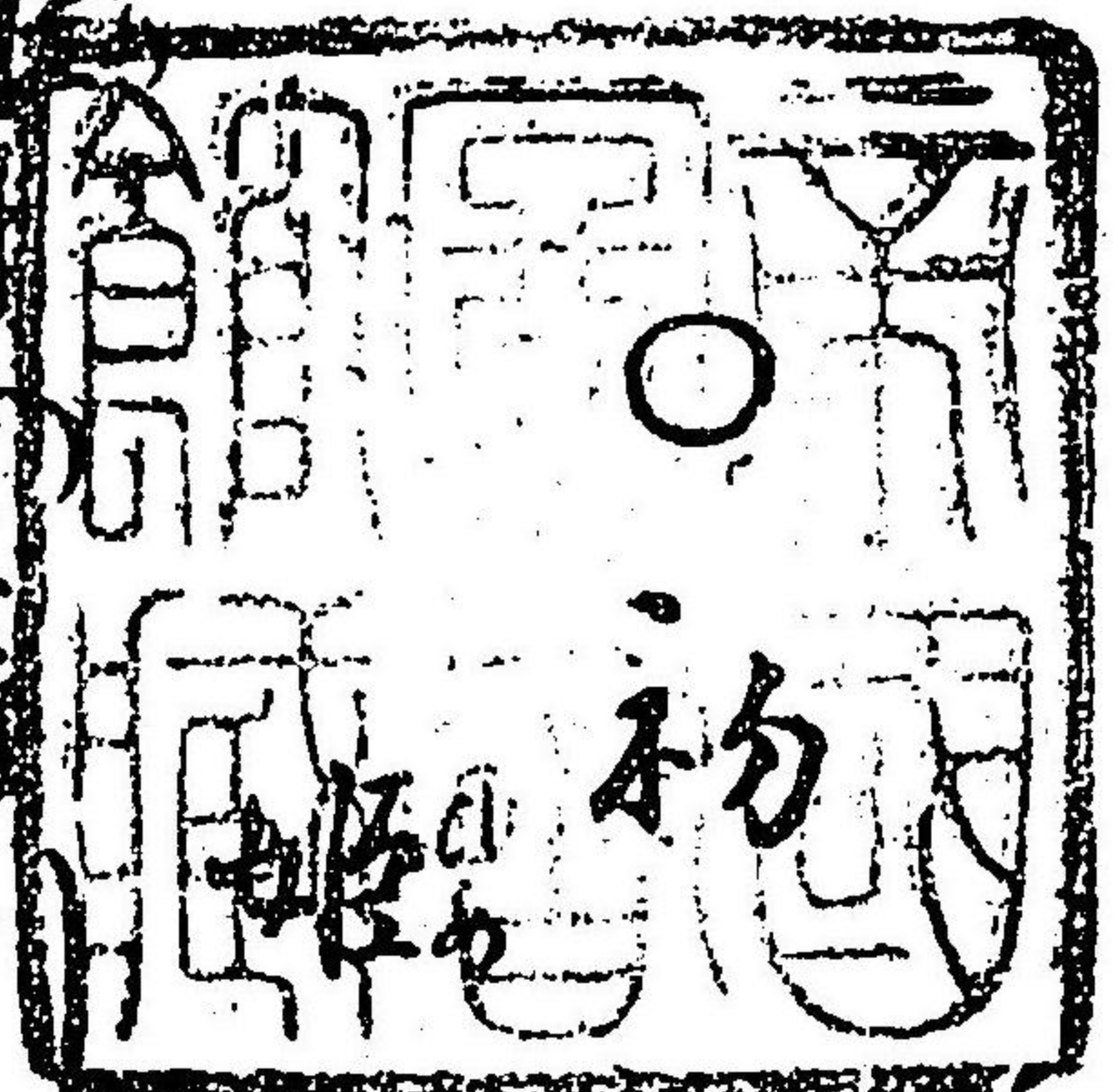
桐壺

四季の友

八段之調子

乱輪舌

薄霞



歩ま

姉
ひまわり小松緑りの色しま

こ

あけくさ

梅く。流るるのさき。はなはなと散るる霞の雲
白ひどりのさき。はなはなと散るる霞の雲

花くさ

梅の白妙梅の目ふし。桃のさき。はなはなと散るる霞の雲
さきあや織る京柳

四季の花

春の花。夏はたちげれ。秋も菊冬も水仙
むろろやうめん

螢

流るるのさき。はなはなと散るる霞の雲
はなはなと散るる霞の雲。取つてあつめて夜
もさき。窓の光りよみとるよ

手習

手さくらふちびよ難波津よ愛わめ花をさむらう今
とてなほとて又字のまゝの母より不承してとてよ
空しくもささげしるるの歌のさし月雪花の
折く雪のふりふりさしるるの歌

雪の道

落梅

年ふちるるまのまのまの垣根の竹の色づきえ柳の糸は

あちちやうりふりも床し梅の花折もをうとては由
の音よ雨よいざちる心地して花も散るあり花も
ちるなりゆえれね

新年の雪

入はなすのまのまの柳のさしと梅のさしとね花のさしと
表のほよ新らしき年となしるるのさしと
のさしと世のまのまのさしと

あら、年

秋の時のふかきさうじをまきからいしじが指しあり
うぎくじんよ錦とよははきりもこ尾髪をむかへた女郎
を誰うぬぎうけしきさうまおやのあかんしのなぞ一子
日かろし命のお顔る花あせやのたぐとも昔れ
人のあせそめて秋野のむれうさうさうその名を今
こいさなきお時(わ)は句(る)秋(の)せや

○表 標

茶 路

① ぬきうき(茶路)のひらひら(茶路)のよきよき(茶路)の
ーがー(茶路)のあきあき(茶路)のあきあき(茶路)の

② 葉(茶路)のむらむら(茶路)のむらむら(茶路)の
五十五(茶路)の五十五(茶路)の五十五(茶路)の

③ 月(茶路)のま(茶路)のま(茶路)のま(茶路)のま(茶路)の
の(茶路)のま(茶路)のま(茶路)のま(茶路)のま(茶路)の

世の五十七の世に
世の五十七の世に
世の五十七の世に
世の五十七の世に

④ 長も...
長も...
長も...
長も...

あつ...
あつ...
あつ...
あつ...

⑤ ちり...
ちり...
ちり...
ちり...

おほ...
おほ...
おほ...
おほ...

⑥ ちり...
ちり...
ちり...
ちり...

ちり...
ちり...
ちり...
ちり...

⑦ せせ...
せせ...
せせ...
せせ...

せせ...
せせ...
せせ...
せせ...

梅の枝

① ちり...
ちり...
ちり...
ちり...

ちり...
ちり...
ちり...
ちり...

② ちり...
ちり...
ちり...
ちり...

ちり...
ちり...
ちり...
ちり...

③

花のしほりにあはれはまはるる花のついでに
あはれはまはるる花のついでに
あはれはまはるる花のついでに
あはれはまはるる花のついでに

④

あはれはまはるる花のついでに
あはれはまはるる花のついでに
あはれはまはるる花のついでに
あはれはまはるる花のついでに

⑤

あはれはまはるる花のついでに
あはれはまはるる花のついでに
あはれはまはるる花のついでに
あはれはまはるる花のついでに

⑥

あはれはまはるる花のついでに
あはれはまはるる花のついでに
あはれはまはるる花のついでに
あはれはまはるる花のついでに

あはれはまはるる花のついでに

①

あはれはまはるる花のついでに
あはれはまはるる花のついでに
あはれはまはるる花のついでに
あはれはまはるる花のついでに

②

あはれはまはるる花のついでに
あはれはまはるる花のついでに
あはれはまはるる花のついでに
あはれはまはるる花のついでに

③ ありて夜乃 ありて海に ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る

ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る

④ ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る

ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る

⑤ ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る

ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る

⑥ ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る

ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る

天下太平

① 天下太平 ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る

ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る

② ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る

ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る

③ ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る ありて入る ありて出る

④ 神が神を祀りえぬがまゝにありしに
（カキマタニツ）
（ニツコシニツ）

花れえんのびらぐ後おほ月夜よびく持で
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）

さびらねらぬちきりしきりあやみえち後
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）

するぞれにやむいふもくしとく
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）

神のめぐみあはれにまはるゝとく
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）

秋のちりふまはるゝとく
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）

さるたびにまはるゝとく
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）

雪 雪

① 雪はあつちの雪
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）

ふりそとふりそと
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）

あつちの雪はあつちの雪
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）

あつちの雪はあつちの雪
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）

あつちの雪はあつちの雪
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）

あつちの雪はあつちの雪
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）
（カキマタニツ）

- ④ 志ねのあしらはぐきまらしまりかひもあはるが
(十ニツ) (十ニツ) (十ニツ) (十ニツ) (十ニツ)
- ⑤ 昔このくさねのあしはつ月ハあはるが
(十ニツ) (十ニツ) (十ニツ) (十ニツ) (十ニツ)
- ⑥ ねのあしはつ月ハあはるが
(十ニツ) (十ニツ) (十ニツ) (十ニツ) (十ニツ)

雪の朝

- ① 伊美れあしはつ月ハあはるが
(十ニツ) (十ニツ) (十ニツ) (十ニツ) (十ニツ)
- ② ねのあしはつ月ハあはるが
(十ニツ) (十ニツ) (十ニツ) (十ニツ) (十ニツ)
- ③ ねのあしはつ月ハあはるが
(十ニツ) (十ニツ) (十ニツ) (十ニツ) (十ニツ)
- ④ ねのあしはつ月ハあはるが
(十ニツ) (十ニツ) (十ニツ) (十ニツ) (十ニツ)

くもり終り秋の夜の月(一三三ハセハ) 雲(一七五ハチカケ) 霞(一七五ハチカケ) 霧(一七五ハチカケ)

⑤ えねのあざ(一三三ハセハ) 乃が(一三三ハセハ) 月(一三三ハセハ) 雲(一三三ハセハ) 霞(一三三ハセハ) 霧(一三三ハセハ)

福(一三三ハセハ) 雲(一三三ハセハ) 霞(一三三ハセハ) 霧(一三三ハセハ)

⑥ あぢ(一三三ハセハ) 雲(一三三ハセハ) 霞(一三三ハセハ) 霧(一三三ハセハ)

から(一三三ハセハ) 雲(一三三ハセハ) 霞(一三三ハセハ) 霧(一三三ハセハ)

う(一三三ハセハ) 雲(一三三ハセハ) 霞(一三三ハセハ) 霧(一三三ハセハ)

六段之調子

○ 雲 操

雲の上

① 雲(一三三ハセハ) の(一三三ハセハ) 上(一三三ハセハ)

み(一三三ハセハ) 雲(一三三ハセハ) の(一三三ハセハ) 上(一三三ハセハ)

② おも(一三三ハセハ) 雲(一三三ハセハ) の(一三三ハセハ) 上(一三三ハセハ)

ほ(一三三ハセハ) 雲(一三三ハセハ) の(一三三ハセハ) 上(一三三ハセハ)

③ 中(一三三ハセハ) 雲(一三三ハセハ) の(一三三ハセハ) 上(一三三ハセハ)

ハセ甲ノイロウ
ウラヒハナラフ
名ノカニ
ハセ甲ノイロウ
名ノカニ

④ 神ノカニ
カニ
カニ
カニ
カニ
カニ

カニ
カニ
カニ
カニ
カニ
カニ

⑤ カニ
カニ
カニ
カニ
カニ
カニ

カニ
カニ
カニ
カニ
カニ
カニ

⑥ カニ
カニ
カニ
カニ
カニ
カニ

カニ
カニ
カニ
カニ
カニ
カニ

ハセ甲ノイロウ

① カニ
カニ
カニ
カニ
カニ
カニ

カニ
カニ
カニ
カニ
カニ
カニ

② カニ
カニ
カニ
カニ
カニ
カニ

カニ
カニ
カニ
カニ
カニ
カニ

③ カニ
カニ
カニ
カニ
カニ
カニ

カニ
カニ
カニ
カニ
カニ
カニ

④ 花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に

⑤ 花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に

⑥ 花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に

⑦ 花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に

⑧ 花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に

いさよの海をてびらきしは
いさよの海をてびらきしは

桐壺

① 花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に

② 花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に

一葉

③ 花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に

④ 花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に

⑤ 花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に

⑥ 花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に
花の影を照らす月夜に

④ みち志る屋せー小君乃中半ちよ花うれく

しき悲海よちうに世んまは海乃かかろて

拾うー炎

⑤ ずんばかろてちよんせり花うれく

くにおのにおろちよんせり花うれく

ちよんせり

⑥ あみ花うれくちよんせり花うれく

ちよんせり花うれくちよんせり花うれく

四季花友

① 春ちよんせり花うれく

梅のちよんせり花うれく

のちよんせり花うれく

② 流乃ちよんせり花うれく

雲（うろたせきん）の（うろた）り（うろた）ほ（うろた）き（うろた）た（うろた）き（うろた）ら（うろた）る（うろた）を（うろた）し（うろた）ま（うろた）す（うろた）

月（つき）波（なみ）の（なみ）こ（なみ）ゆ（なみ）き（なみ）か（なみ）く（なみ）は（なみ）る（なみ）ま（なみ）た（なみ）し（なみ）ま（なみ）る（なみ）林（はやし）乃（な）

夜（よ）に（よ）て（よ）成（なり）じ（なり）づ（なり）く（なり）入（い）出（で）持（も）海（うみ）を（うみ）夜（よ）

神（かみ）無（な）月（つき）き（つき）ぐ（つき）れ（つき）し（つき）ら（つき）の（つき）ぬ（つき）わ（つき）が（つき）え（つき）の（つき）み（つき）ぞ（つき）り（つき）

う（う）づ（う）め（う）の（う）白（しろ）雲（うろた）を（うろた）と（うろた）く（うろた）あ（うろた）ら（うろた）れ（うろた）た（うろた）花（はな）を（はな）あ（はな）ら（はな）ん（はな）

八段（はちだん）之（の）調子（てうし）

乱（みだ）輪（りん）舌（しか）

海（うみ） 雨（あめ）

あ（あ）つ（あ）き（あ）ら（あ）う（あ）春（はる）の（はる）日（ひ）も（ひ）ち（ひ）の（ひ）海（うみ）が（うみ）す（うみ）こ（うみ）の（うみ）ま（うみ）た（うみ）て（うみ）

入（い）ん（い）の（い）糸（いと）柳（やなぎ）し（やなぎ）ー（やなぎ）と（やなぎ）う（やなぎ）け（やなぎ）そ（やなぎ）も（やなぎ）ん（やなぎ）と（やなぎ）風（かぜ）を（かぜ）

ぬ（ぬ）も（ぬ）め（ぬ）の（ぬ）都（みやこ）の（みやこ）い（みやこ）ら（みやこ）ぬ（みやこ）も（みやこ）も（みやこ）え（みやこ）出（で）る（で）ま（で）つ（で）

い（い）ら（い）ぬ（い）ま（い）す（い）こ（い）の（い）ま（い）は（い）ら（い）い（い）は（い）ら（い）す（い）が（い）あ（い）ら（い）み（い）の（い）ま（い）は（い）ら（い）る（い）

入（い）ん（い）の（い）こ（い）の（い）緑（きり）を（きり）あ（きり）ら（きり）ぬ（きり）も（きり）し（きり）も（きり）あ（きり）ら（きり）い（きり）は（きり）ら（きり）ぬ（きり）

つ（つ）み（つ）の（つ）視（し）も（し）ん（し）ま（し）の（し）ま（し）ら（し）の（し）ま（し）ら（し）む（し）れ（し）ぬ（し）ま（し）ら（し）む（し）れ（し）ぬ（し）

おちし子よ眉とあはらざる娘まの緑り此
 藤一田鶴も子代りてはあはれそそそ
 夢裡も代りてはあはれそそそ
 子よあはれ若葉もあはれそそそ
 子よあはれ若葉もあはれそそそ
 子よあはれ若葉もあはれそそそ

